

した。八月四日北区青嶺館に於いて、葬会式を挙行し、宣言を決定し、具体的行動に示み出した。
八月二十四・五と開かれたる中央委員会は、西尾一次に何等の態度をなさず、屈従のみをし、いんとした。九月一日開かれたる聯合会大會に於いて中央委員会が決定に承服せずとの決計に、吾組合も賛成し、再考を促すことが決定された。
九月八日に開かれたる中央委員会は、吾が組合、金屬合同の二組合並に十六名の同志を余名し、徳同盟の非階級を白日の下に曝すに至り、大衆の怒然たる反村を受けしことになつた。
こゝに階級的立場を守る吾等労働組合全国同盟を組織し、吾組合も其の傘下に加はるることになつた。

二、組織及び宣傳

七月七日柏原紡織株式会社の労働者がストライキを決定せりとた、飛報に接するや、たゞしに闘士を送り、争議の広げを存し、大勝利解決後争議団員全部を以つて柏原支部を創立し、河内の原頭に組合の

旗をたつるに至つた。尚同工場の附近に在り、飛津製油にも組合員を合同組合との諒解の下に獲得し、獲得せる組合員は柏原支部に一併加入せしめられた。
九月二十四日柏原十日前に於いて、宣傳演説会を關を相当の初果を

收めた。
富士瓦斯紡績大和工場に於いて、組合員を獲得し、七月二十四日会社の警戒の中に、大和岡妙見寺に於いて大和岡支部を式を挙行した。

十月の初旬より芥川町船和線系に組合員の増加を来しつ、あつたが、会社は組合の此の急進なる發展に恐れ、果しき彈圧の雨を下した。此水に對抗するため、組合は、細胞組織をもつて、潛行運動を恢復せしめよ。

合同毛織株式会社の工場閉鎖に對しては、御用団体互助会の本質を暴露し、労働組合の心算と、但爾を獲得した。
濱谷橋子工場にも細胞を植付、活潑なる運動を開始せんとする先、同工場を解散に下つて、組合員は消滅するに至つた。